

# 令和5年産 美里地区の大豆情報

第5号 令和5年9月13日

宮城県美里農業改良普及センター

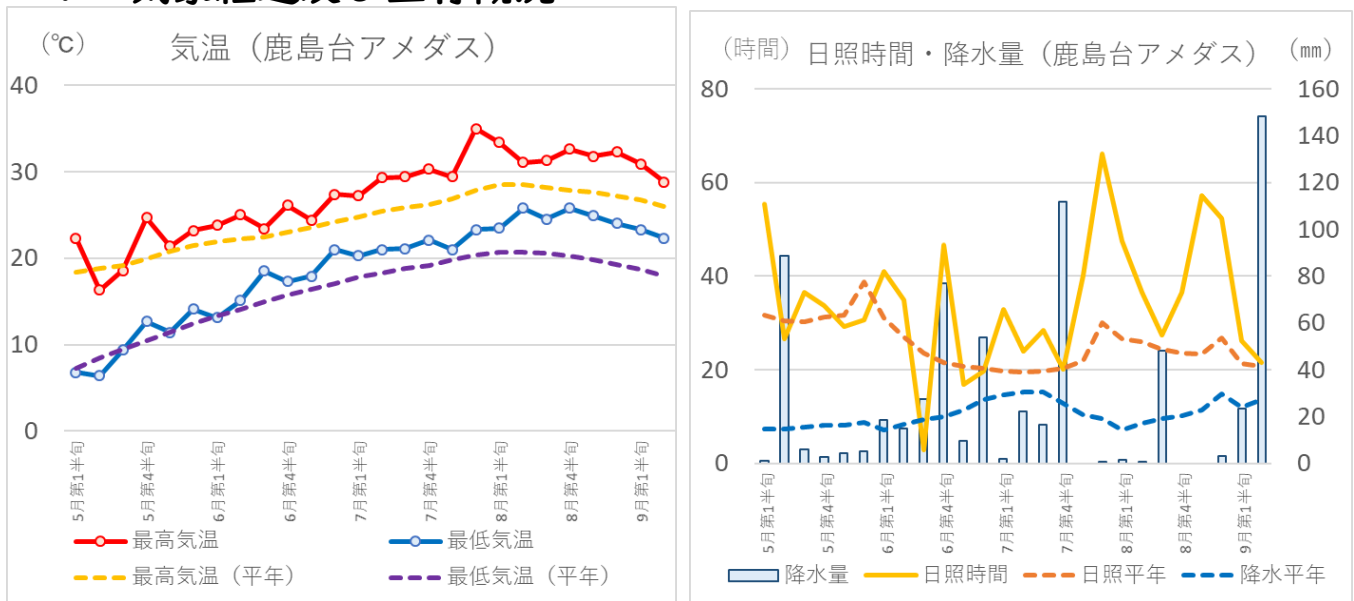
TEL:0229-32-3115

FAX:0229-32-2225

<http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



## I 気象経過及び生育概況



- 生育期間を通じて高温傾向が続いています。特に8月の最低気温は平年を5°Cほど上回っています。
- 日照時間は平年を上回る傾向が続いており、8月の日照時間は平年比171%となっています。
- 降水量については、8月中旬にも10日間連続降雨無し(8月16日~26日)となりましたが、9月6日は日降水量131.5mmの大雨となりました。その後の台風13号は、降水量も少なく風も僅かでした。

### 生育調査結果 (調査日: 8月31日)

品種	調査地点	播種日	主莖長 (cm)	主莖節数 (節/本)	分枝数 (本/本)
タチナガハ	涌谷町岸ヶ森	6月19日	57.1	13.6	3.3
	大崎市田尻大沢	5月31日	67.7	15.3	4.1
	大崎市鹿島台木間塚	5月31日	66.3	13.9	4.1
タンレイ	(参考: 作況試験ほ調査結果) ※	5月25日	98.0	17.6	6.4
ミヤギシロメ	涌谷町岸ヶ森	6月21日	78.3	17.3	3.2
	美里町青生	6月7日	85.5	15.3	4.2
	(参考: 作況試験ほ調査結果) ※	6月15日	113.0	17.1	5.0

※古川農業試験場が実施している令和5年度大豆作況試験の調査結果 (8月31日実施)

- タチナガハのほ場では標播・晩播ともに子実肥大期に入っています。
- ミヤギシロメについては作況ほど比較して主莖長は低いものの、主莖節数は同程度、分枝数はやや少なくなっています。
- 一部のほ場ではハダニ類やアブラムシ類による葉の黄変等が確認されています。

## 2 今後の管理

### (1) 湿害対策 大雨に備えてほ場の排水対策を確認しましょう

- ・9月は8月に次いで台風の発生数が多い月であり、引き続き大雨の心配があります。改めて排水溝や明きよの点検に努め、排水溝との接続を確認するなど、急な雨に備えて、ほ場の排水機能を確認・改善しましょう。

### (2) 雑草対策 手取りや薬剤散布により雑草種子を増やさないようにしましょう

- ・雑草の発生量が多いほ場が散見されます。草種に合わせた対策を行いましょう。
  - ・アメリカセンダングサやシロザ、オオオナモミなどは大型化し、コンバイン収穫の妨げとなるほか、イヌホオズキなどは汚粒の原因ともなります。手取り除草を早めに行うなど、雑草の種子をほ場に落とさないよう心がけましょう。
  - ・除草剤を使用する場合は、「吊り下げノズル」や「万能散布バー」を使用した畦間処理や、専用の器具を用いた除草剤塗布処理が可能です（宮城県「普及に移す技術」第87号参照）。
  - ・アレチウリや帰化アサガオなどの難防除雑草が発生しているほ場が確認されています。発生状況により大幅な減収になる可能性があります。手取り除草を行いましょう（次年度以降の対策としては、有効な除草剤による体系処理や大豆の苗立ち向上、適期作業の励行などを再確認しましょう）。
- 宮城県「普及に移す技術」第90号「大豆作における難防除雑草アレチウリの対策」、帰化アサガオ類まん延防止マニュアル（農研機構）をご参照ください。



アメリカセンダングサ



イヌホオズキ類



アレチウリ

(みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針 より)

### (3) 病害虫対策 高温で推移しているためハダニの被害が確認されています

- ・県病害虫防除所の発生予察情報（令和5年8月28日発行）によると、多湿条件で発生しやすいべと病は発生量「平年並」と推測されています。一方でハダニ類は多発ほ場が確認されているほか、県病害虫防除所の発生速報（令和5年8月17日～22日調査）でも広域で発生が確認されていることから、ほ場の状況を確認し、必要に応じて防除を行いましょう。



ダイズの葉裏で確認されたハダニ

農作業安全確認運動展開中！（9月1日～11月30日）

スローガン

「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

シートベルト・ヘルメットの着用を徹底！